

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【公開番号】特開 2005-323840 (P2005-323840A)  
 【公開日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-046  
 【出願番号】特願 2004-145035 (P2004-145035)  
 【国際特許分類】

**A 4 7 B 81/00 (2006.01)**

【F I】

A 4 7 B 81/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 9 日 (2007.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

この収納装置 100 は、直方体形状の筐体部 110 を有している。この筐体部 110 には、図 2 に示すように、正面側に収納口 121<sub>1</sub> ~ 121<sub>9</sub> を持つ 9 個の四角筒形状の収納部本体 120<sub>1</sub> ~ 120<sub>9</sub> が形成されている。これら収納部本体 120<sub>1</sub> ~ 120<sub>9</sub> は、マトリックス状に配置されている。また、筐体部 110 には、図 1 に示すように、収納部本体 120<sub>1</sub> ~ 120<sub>9</sub> のそれぞれに対応して、その収納口 121<sub>1</sub> ~ 121<sub>9</sub> を覆うための平板部 130<sub>1</sub> ~ 130<sub>9</sub> が、着脱自在に取り付けられている。なお、図 1 は、平板部 130<sub>1</sub> ~ 130<sub>9</sub> を取り付けた状態を示しており、図 2 は平板部 130<sub>1</sub> ~ 130<sub>9</sub> を取り外した状態を示している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

収納部本体 120<sub>1</sub> および平板部 130<sub>1</sub> は上述したように構成されており、平板部 130<sub>1</sub> は収納部本体 120<sub>1</sub> の収納口 121<sub>1</sub> に対応して、着脱自在に取り付けることができる。図 6 は、平板部 130<sub>1</sub> が収納口 121<sub>1</sub> を覆っている閉蓋状態を示している。この閉蓋状態では、ユーザがリモコン 150 を操作してロックモードとすることで、平板部 130<sub>1</sub> のロック機構 145 を構成する爪部 146 が、収納口 121<sub>1</sub> の段差部 122 に設けられた爪挿入孔 125 に挿入され、ロック状態となる。図 7 は、収納口 121<sub>1</sub> が開放された開蓋状態を示している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

なお、平板部 130<sub>1</sub> を収納部本体 120<sub>1</sub> の収納口 121<sub>1</sub> の部分から容易に取り外すことができるので、平板部 130<sub>1</sub> の分離使用を容易に行うことができる。平板部 13

0.1は、取り外されたときには、普通のテレビ受信機として利用できる。上述したアンテナ線接続端子141およびAC電源ケーブル接続端子142は、平板部130.1を上述したように取り外して普通のテレビ受信機として使用する際に必要となるものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

アンテナ線分配器204は、アンテナ端子180に入力された放送信号BSを、テレビボックス部205.1~205.9に分配する。スイッチ203は、テレビボックス部205.1~205.9からの画像信号SVおよび外部画像入力端子182に入力された画像信号SVを入力し、テレビボックス部205.1~205.9への画像信号SVを出力する。また、このスイッチ203は、テレビボックス部205.1~205.9からの音声信号SAおよび外部音声入力端子184に入力された音声信号SAを入力し、テレビボックス部205.1~205.9のスピーカ139L, 139Rやスピーカ140L, 140Rへの音声信号SAを出力する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

このテレビボックス部205.1は、リモコン信号RMの入力端子301、放送信号BSの入力端子302、画像信号SVの入力端子303、画像信号SVの出力端子304、音声信号SAの出力端子305、音声信号SAの入力端子306を有している。これら端子301~306は、上述した接続端子135(図4参照)を構成している。また、このテレビボックス部205.1は、アンテナ線接続端子141を有している。この接続端子141は、チューナ312に接続されている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0108

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0108】

指定されたテレビボックス部では、当該リモコン信号RMに基づいて、制御部311が信号処理部313を制御し、入力端子303に入力された画像信号SVに対してIP変換処理、さらにはスチル処理を行い、処理後の画像信号を画像表示素子131に供給する。これにより、指定されたテレビボックス部の画像表示素子131に、指定されたジャケットまたはズボン(スカート)が表示された状態となる。これにより、任意のジャケットおよびズボン(スカート)を組み合わせた表示が可能となる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0129

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0129】

図20のフローチャートは、ミラー表示処理を示している。まず、ステップST221で、処理を開始し、ステップST222で、自己の撮像素子132の出力を使用するか否かを判定する。自己の撮像出力を使用するときは、ステップST223で、撮像出力をス

スイッチャ 2 0 3 に出力し、その後にステップ S T 2 2 4 に進む。ステップ S T 2 2 2 で、自己の撮像出力を使用しないときは、直ちにステップ S T 2 2 4 に進む。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 0】

ステップ S T 2 2 4 では、自己の記録装置 3 1 4 の再生出力（過去画像信号または衣服表示用画像信号）を使用するか否かを判定する。自己の記録装置 3 1 4 の再生出力を使用するときは、ステップ S T 2 2 5 で、再生出力をスイッチャ 2 0 3 に出力し、その後にステップ S T 2 2 6 に進む。ステップ S T 2 2 4 で、自己の記録装置 3 1 4 の再生出力を使用しないときは、直ちにステップ S T 2 2 6 に進む。